京葉銀行 会社説明会

個人投資家の皆さまへ

（東証プライム：8544）

2023年2月27日

株式会社 京葉銀行

80年の感謝を込めて

本日のご説明内容（目次）

１．京葉銀行の特徴・強み	P.　２
２．株主さまへの還元	P.１３
３．将来へ向けた成長戦略	P.１７
４．ESG・SDGsへの取り組み	P.２８

1．京葉銀行の特徴・強み　P．2

2．株主さまへの還元　P．13

3．将来へ向けた成長戦略　P．17

4．ESG・SDGsへの取り組み　P．28

プロフィール

1943年（昭和18年）設立以来、地元千葉県を基盤に営業展開

名称	株式会社京葉銀行
本店所在地	千葉市中央区富士見
設立	1943年3月
上場 **（証券コード）**	東証プライム（8544）
株価 **（2023.2.21現在）**	659円
総資産 **（連結）**	6兆3,101億円
行員数	1,994人
店舗数	122ヵ店 （出張所２ヵ店、インターネット支店１ヵ店を含む）

2022年9月末現在

京葉銀行の歩み

2023年3月に創立80周年を迎える

1943年
千葉合同無尽株式会社を設立
（設立日3月31日）

1951年
商号を株式会社千葉相互銀行に変更

1965年
本店新設

京葉銀行本店
JR千葉駅徒歩4分

1989年
普通銀行へ転換し、商号を
株式会社京葉銀行に変更
コミュニケーションネームを
α（アルファ）バンクとする

2015年
本部棟「千葉みなと本部」竣工

京葉銀行千葉みなと本部
JR千葉みなと駅徒歩5分

2019年
株式会社京葉銀キャピタル&
コンサルティングを設立

2021年
第19次中期経営計画
「αACTION PLAN 2024」
策定

2023年
80年の感謝を込めて
創立80周年

80周年記念事業の展開①

80年の感謝を込めて

私たち京葉銀行は2023年3月31日、おかげさまで創立80年を迎えます。

永きにわたるご愛顧に、心から感謝申し上げます。

役職員一同、創立90年、100年の未来に向け、これからもプラスアルファを

提供し続け、地域の皆さまとともに歩んでまいります。

ロゴマーク、キャッチフレーズの制定

ロゴマークは、地域の人々との絆や繋がりを多角的な輝きの結晶で表現し、SDGsへの取り組みを意識した配色とコーポレートカラーであるロイヤルブルーを使用しています。キャッチフレーズには、80年のこれまでの感謝の気持ちとこれからも地域の皆さまとともに歩んでいきたいという想いを込めています。

80周年記念事業の詳細がご覧いただけます

80周年記念事業の展開②

各種取り組み（実施予定のものを含みます）

お客さま向け取り組み

各種キャンペーンの実施

〈投信積立〉

- 投信積立サービスを新たにお申し込みいただくと、抽選でカタログギフトで利用できるポイントを贈呈
- 投信積立に加えて、NISA口座開設でキャッシュプレゼント

〈環境配慮型住宅ローン金利優遇〉

- 環境配慮型住宅の購入・建築で、キャンペーン金利を適用

※その他、当行を支えてくださった皆さまへ感謝を込め、各種キャンペーンを実施予定

地域の子供たち向け取り組み

金融経済教育の実施

- 2022年10月、学校法人市川学園にて、当行頭取が講演を実施

野球教室の開催

- 当行野球部が県内の中学生向けに野球教室を開催、記念ボールを贈呈

地域の皆さま向け取り組み

デジタルスタンプラリーの実施

- 県内の飲食店や観光施設などを巡り、スタンプを取得するオープン参加型イベント

ショーウィンドーギャラリーでの展示

- 県内の観光スポット、魅力を紹介

株主さま向け取り組み

株主優待制度の拡充

- 2022年12月より、個人株主の皆さまにWebでお申し込みいただける「宝くじコース」を追加

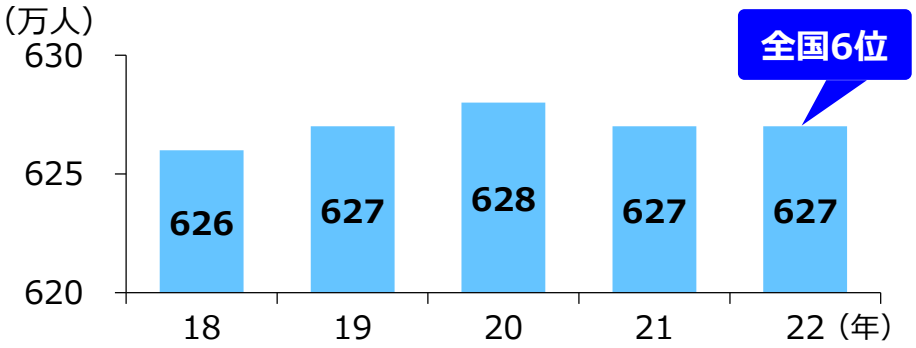
記念配当の実施

- 2023年３月期中間および期末配当で、それぞれ１株あたり50銭、年間１円の記念配当を実施

環境認識①「人口動態」

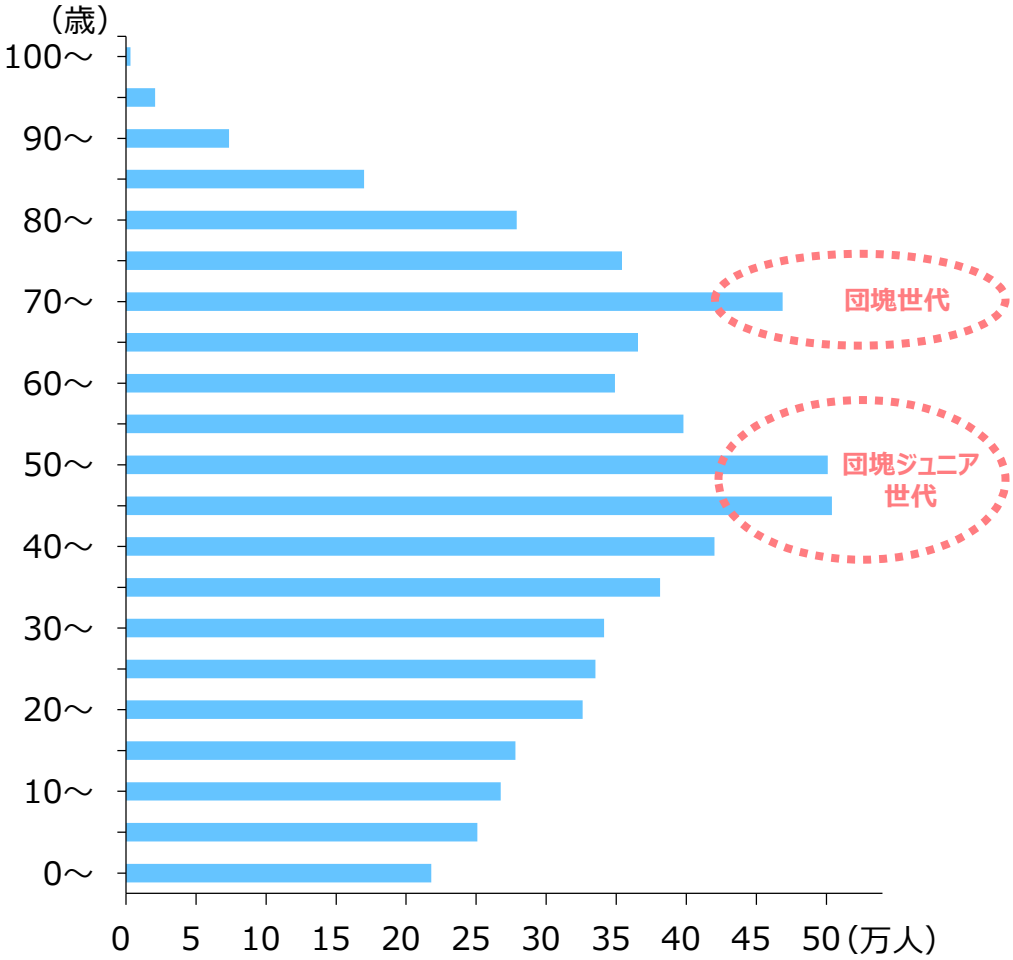
人口規模は全国６位、他県からの移動も１万８千人の転入超過

人口推移



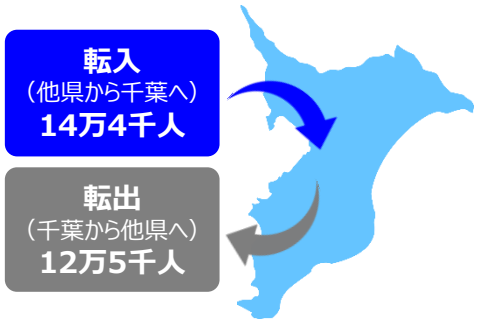
出所：千葉県「毎月常住人口調査」（各年10月1日現在）

年齢階層別人口



出所：千葉県「年齢別・町丁字別人口調査」（2022年4月1日現在）

千葉県外との人口移動



転入超過数ランキング
（2022年の1年間）

1	東京都	33,909人
2	神奈川県	22,492人
3	埼玉県	19,270人
4	千葉県	18,740人
5	福岡県	8,886人

出所：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告2022」（国外転入出及び外国人除く）

環境認識②「経済規模」

千葉県は潜在能力の高い、肥沃なマーケット

充実した交通インフラと地理的特徴

バランスの良い産業構造

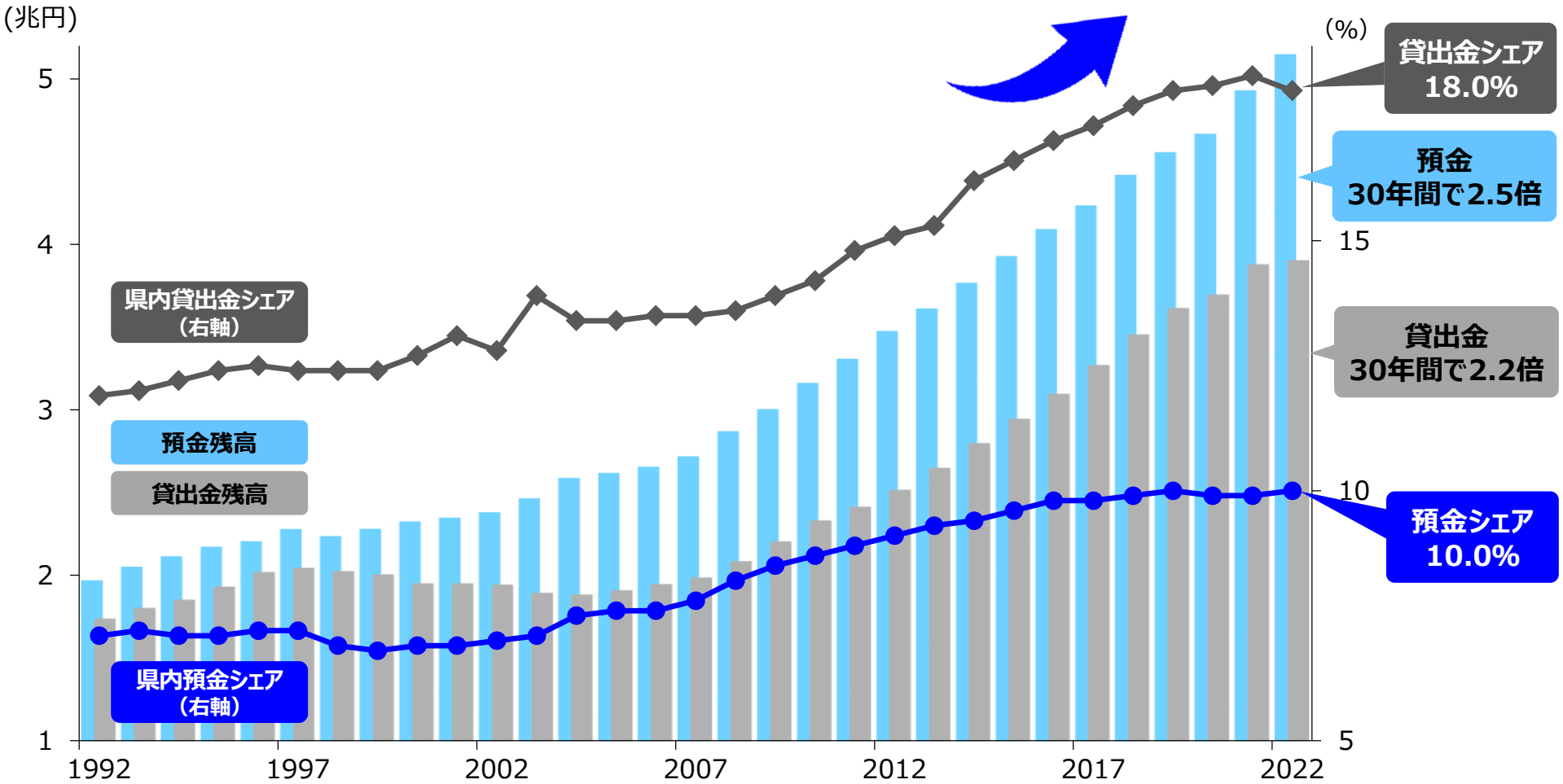
農業	農業産出額	3,471億円	6位*1
漁業	海面漁業漁獲量	9.9万ｔ	8位*2
工業	製造品出荷額	11.9兆円	8位*3
商業	年間商品販売額	12.5兆円	9位*4
中小企業数		12万社	9位*5
開業率		5.8%	6位*6
港別貿易額の合計		39.9兆円	1位*7
県民所得		19.2兆円	6位*8

出所：＊1 農林水産省「令和3年農業産出額及び生産農業所得」
＊2 農林水産省「令和2年漁業・養殖業生産統計」
＊3 経済産業省「令和3年経済センサス（製造業）」
＊4 経済産業省「平成28年経済センサス（卸売業・小売業）」
＊5 中小企業庁「都道府県・大都市別企業数、常用雇用者数、従業者数2016年6月」
＊6 中小企業庁「2022年版中小企業白書」
※開業率…当該年度に雇用関係が新規に成立した事業所数／前年度末の適用事業所数
＊7 財務省「令和3年貿易統計」輸出と輸入の総額
（千葉県は成田国際空港、千葉港、木更津港の合計）
＊8 内閣府「2019年度県民経済計算」

業容と千葉県内シェアの推移

千葉県内の預金、貸出金シェアは順調に拡大

預貸金残高と千葉県内シェア



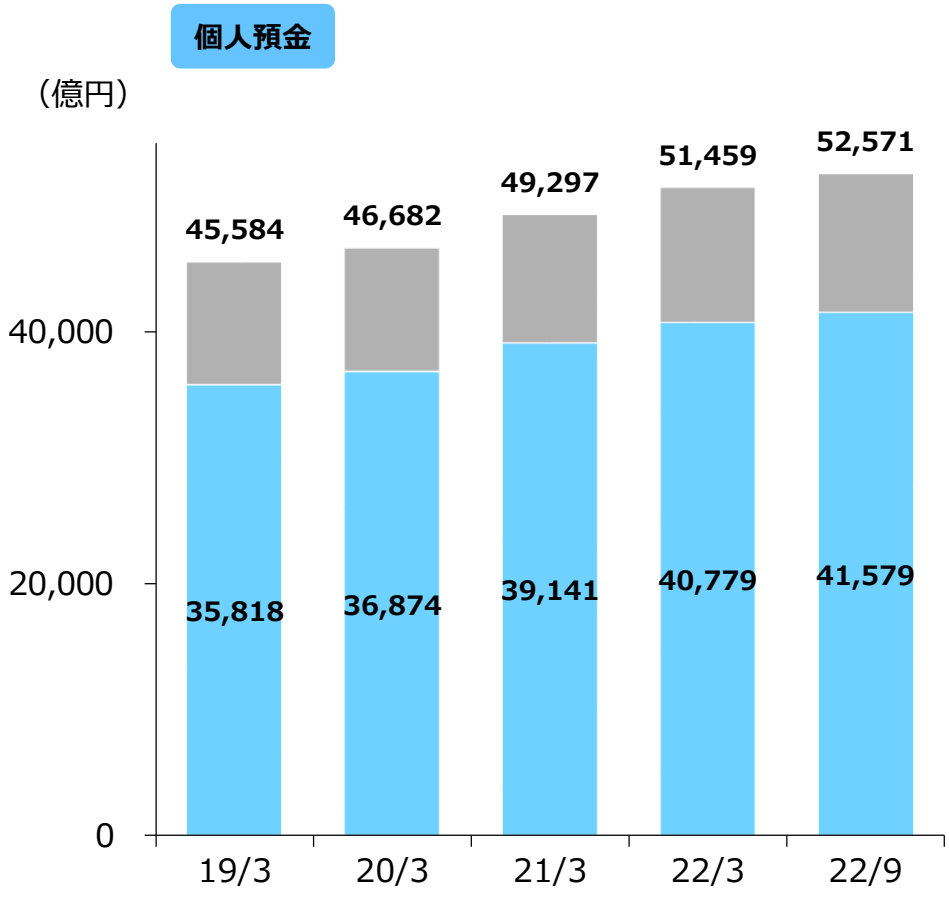
出所（県内シェア）：金融ジャーナル　各年3月期

預金・貸出金

預金・貸出金ともにバランスよく増加

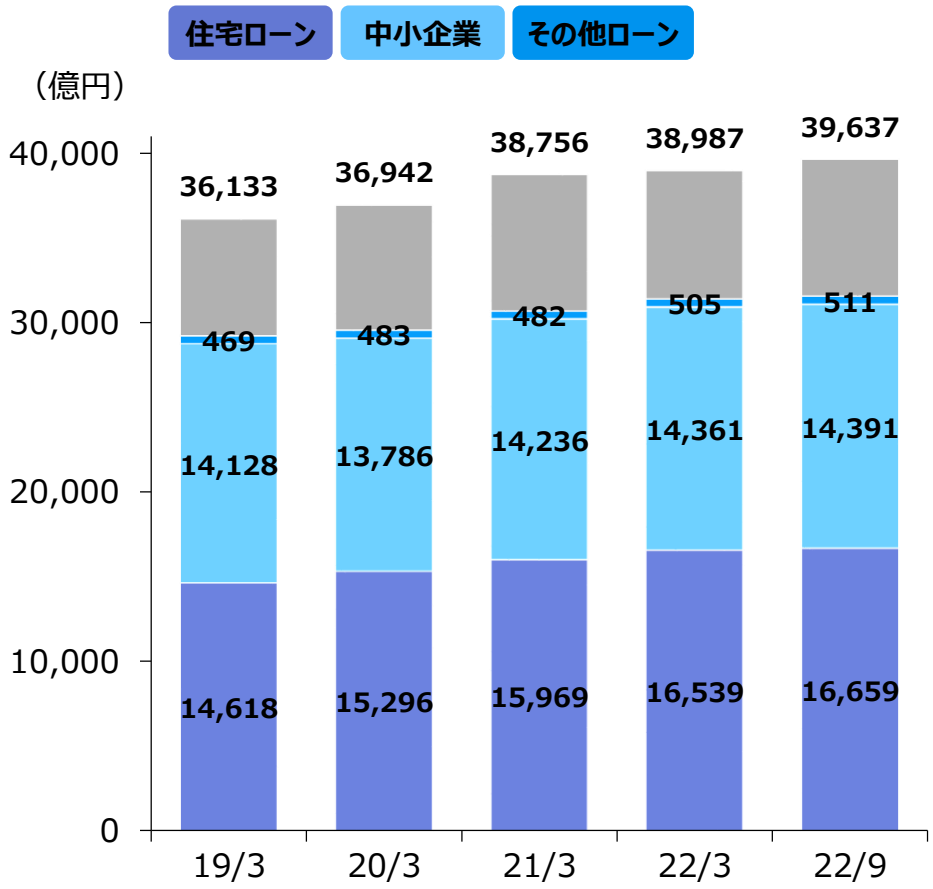
預金残高

- 個人預金　全体の約8割



貸出金残高

- 中小企業向け・個人向け　全体の約8割



2023年3月期　中間決算概要および通期見通し

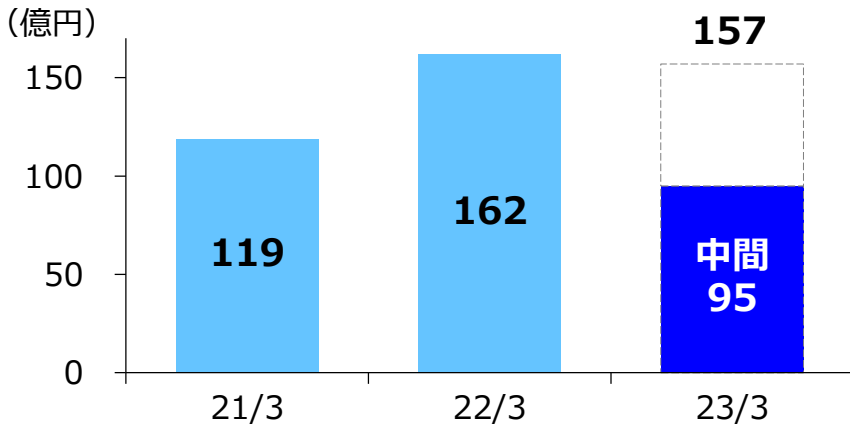
実質与信関連費用は大幅減少、通期業績予想に対して順調に進捗

（億円）

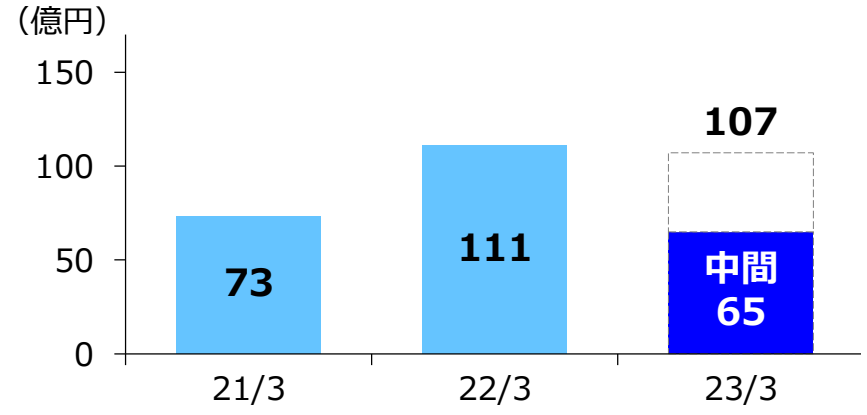
単体	2021/9	2022/9	前年同期比
業務粗利益	274	230	△43
うち国債等債券損益	△0	△35	△34
経費（△）	176	170	△5
コア業務純益	98	95	△3
経常利益	90	93	3
中間純利益	63	65	2
実質与信関連費用	12	△23	△35

連結	2021/9	2022/9	前年同期比
経常利益	91	95	3
親会社株主に帰属する中間純利益	64	65	1

経常利益（連結）



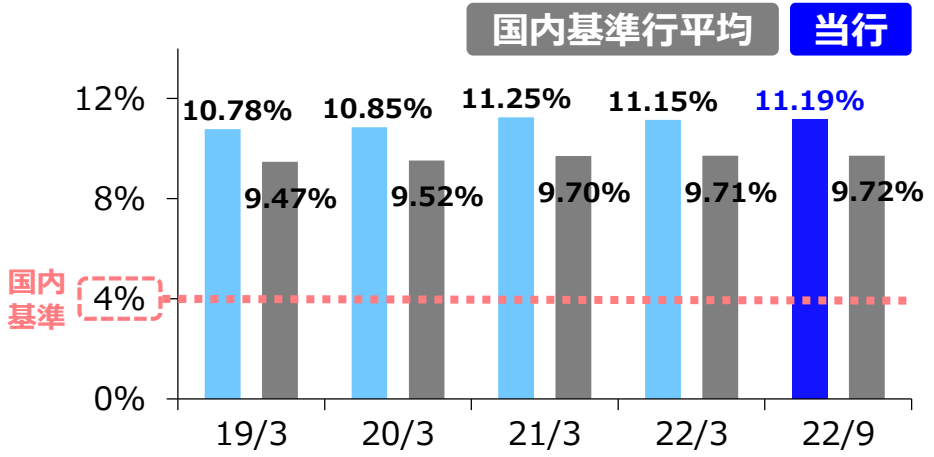
親会社株主に帰属する当期純利益（連結）



自己資本比率・不良債権比率・OHR・外部格付

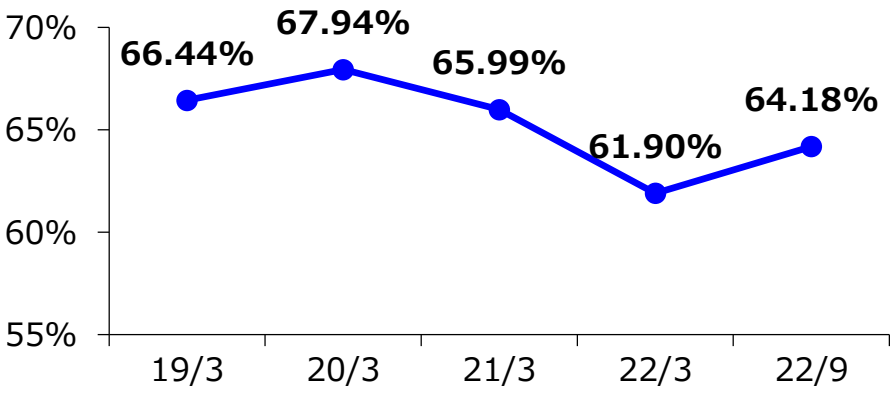
高い健全性、効率性を維持、地域のお客さまへ安定的に資金を供給

自己資本比率（単体）



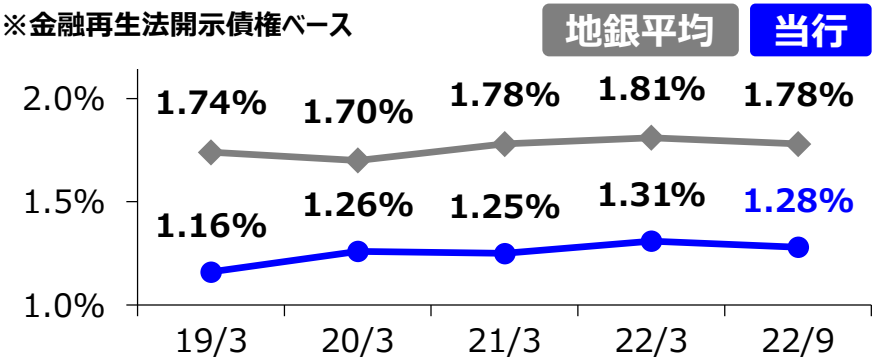
（出所）金融庁

OHR（単体）



不良債権比率（単体）

※金融再生法開示債権ベース



（出所）金融庁

外部格付

日本格付研究所（JCR）	A+
S&Pグローバルレーティング	A−

1．京葉銀行の特徴・強み　P．2

2．株主さまへの還元　P．13

3．将来へ向けた成長戦略　P．17

4．ESG・SDGsへの取り組み　P．28

資本政策

ステークホルダーへの適切な利益配分を実施しつつ、健全性を維持

資本政策

基本方針

- 銀行業の公共性に鑑み、健全経営と内部留保の充実に努めるとともに、ステークホルダーへの適切な利益配分を実施

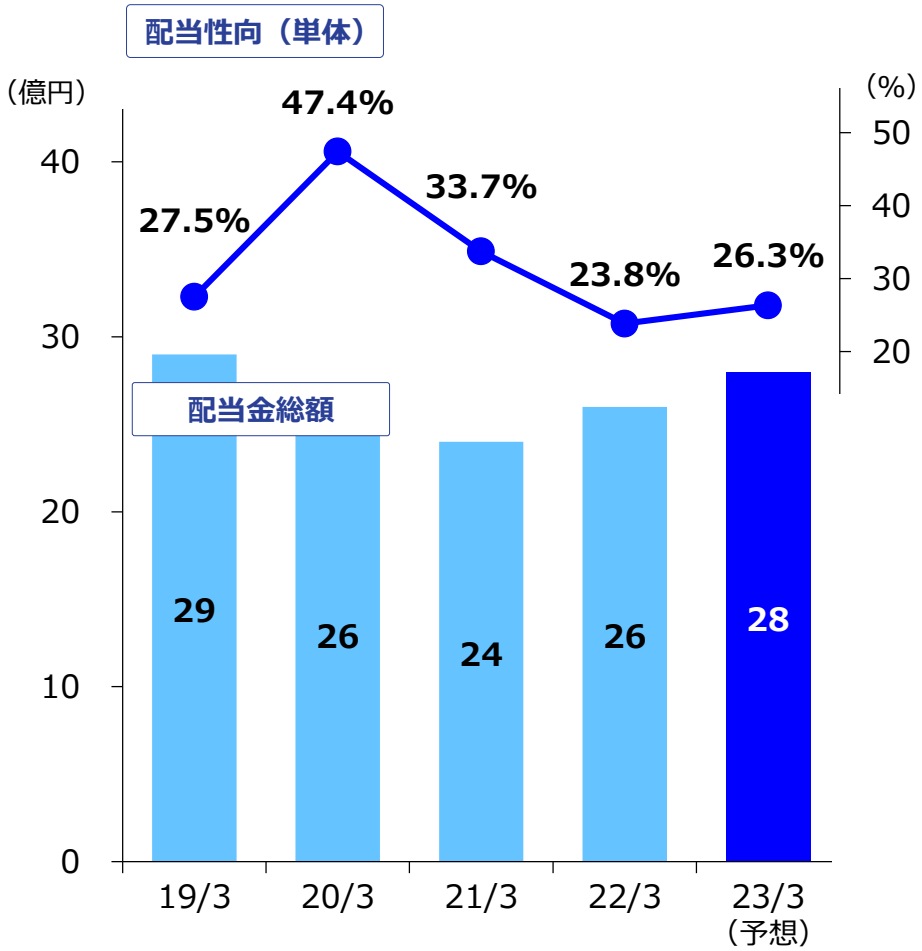
中期的な方向性	
株主還元	安定配当を基本としつつ 配当性向30%以上を目安とする
健全性	自己資本比率は11%程度を目安とし、 十分な自己資本を確保する

1株当たり配当金

	中間	期末	年間
2022/3	10.00円	10.50円	**20.50円**
2023/3	11.00円	11.00円 （予想）	**22.00円** **（予想）**

前年比1.50円増配

配当金総額と配当性向



（注）2023年3月期の中間配当金の内訳　普通配当10.50円　創立80周年記念配当0.50円
2023年3月期の期末配当金（予想）の内訳　普通配当10.50円　創立80周年記念配当0.50円

配当利回り

東証プライム市場の平均配当利回りを上回る水準

配当利回り

	京葉銀行※1	3.33%
	上場地銀平均※2	3.21%
	東証プライム市場平均※3	2.51%
【参考】	個人向け国債 変動金利10年※4	0.33%

高水準の
配当利回り

(※1) 2023年2月21日終値659円、2023年3月期年間配当計画22円（2023年2月21日時点の予想額）を基に算出
(※2) 上場地銀・グループの加重平均利回り（2023年2月21日終値）
(※3) 東証プライム市場全銘柄 加重平均利回り（2023年2月21日終値）
(※4) 第154回債（発行日2023年2月15日）

株主優待制度

人気の宝くじを株主優待制度に追加

特典① ギフトカード（QUOカード）の贈呈（年1回）

対象の株主さま

- 3月31日において1年以上継続して500株以上保有されている株主さまご本人

保有株式数	500株以上 2,500株未満	2,500株以上 5,000株未満	5,000株以上
ギフトカードの金額	**1,000円** 相当	**3,000円** 相当	**5,000円** 相当

特典② 選べる株主優待（年2回）

以下の２コースのいずれかより、お選びいただけます。

金利優遇コース

対象の株主さま（基準日：3月31日、9月30日）

- 500株以上保有されている株主さまご本人

保有株式数	500株以上 5,000株未満	5,000株以上
スーパー定期 店頭表示金利 ＋年0.2%	半期最大 **100万円** 〔年間最大 **200万円**〕	半期最大 **200万円** 〔年間最大 **400万円**〕

宝くじコース New

対象の株主さま（基準日：3月31日、9月30日）

- 500株以上保有し、定期預金残高100万円以上お預け入れいただいている個人の株主さまご本人

保有株式数	500株以上 5,000株未満	5,000株以上
宝くじ枚数	半期 **5枚** 〔 年間 **10枚** 〕	半期 **10枚** 〔 年間 **20枚** 〕

1．京葉銀行の特徴・強み	P．　2
2．株主さまへの還元	P．13
3．将来へ向けた成長戦略	**P．17**
4．ESG・SDGsへの取り組み	P．28

第19次中期経営計画の概要

社会課題　外部環境

コロナ禍	少子高齢化・後継者不足	低金利環境の長期化	ライフスタイルの変化	急速なデジタル化	規制緩和	SDGs

第19次中期経営計画　α ACTION PLAN 2024 ～さらなる進化～

計画期間　● 2021年４月～2024年３月（３年間）

３つの基本戦略

基本戦略①	基本戦略②	基本戦略③
課題解決型営業の強化	**生産性の向上と人財の育成**	**経営基盤の強化**
地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。	デジタルを活用し、当行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。	リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

目指す銀行像

お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行

計画計数の進捗状況

			2021/3 実績	2022/3 実績	2022/9 実績	2024/3 計画
経営指標	親会社株主に帰属する当期純利益		73億円	111億円	65億円	80億円
経営指標	自己資本比率（連結）		11.29%	11.17%	11.22%	11%程度
経営指標	OHR（単体）		65.99%	61.90%	64.18%	60%台
主要計数	法人	中小企業向け貸出残高※1	1兆4,236億円	1兆4,361億円	1兆4,391億円	1兆6,000億円
主要計数	法人	法人ソリューション関連手数料※2	13億円	26億円	12億円	30億円
主要計数	個人	住宅ローン残高※1	1兆5,969億円	1兆6,539億円	1兆6,659億円	1兆7,800億円
主要計数	個人	預かり資産関連手数料	28億円	36億円	14億円	35億円

※1 計画値は部分直接償却実施前
※2 京葉銀キャピタル＆コンサルティングを含む

法人ソリューション①

課題解決型営業の体制整備とメニュー拡充により、コンサルティング機能を強化

ソリューション提供体制の強化

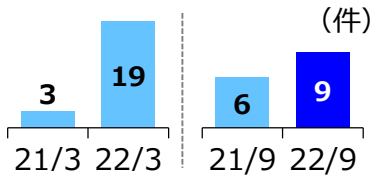
本部直接営業の強化

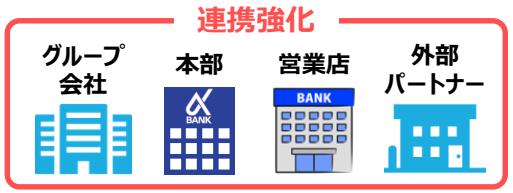
- 法人営業部内にソリューション営業チーム新設

グループ内外の連携強化

- りそなHDなどの外部パートナーを含む、内外連携を強化し最適なソリューションを提供

シンジケートローン組成件数



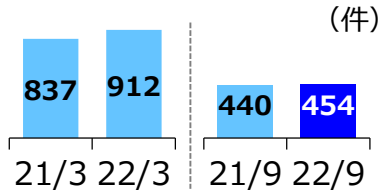


ソリューションメニューの拡充

ビジネスマッチング（BM）サポートの高度化

- ビジネスマッチングプラットフォーム「αBMS」稼働（リンカーズ提供システムを首都圏で初導入）
- 業務提携先の拡充

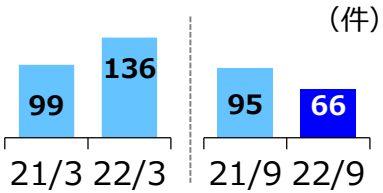
BM（有償）成約件数



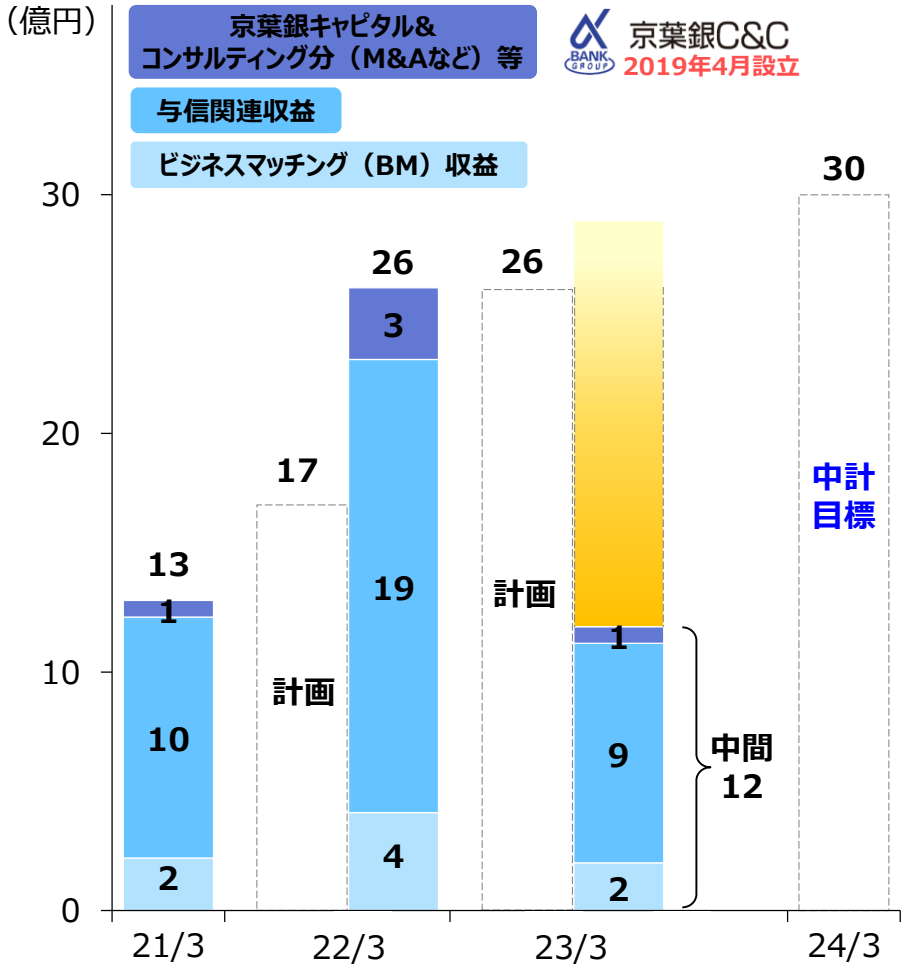
事業承継問題への対応強化

- M&Aアドバイザリーサービスの取扱開始
- 事業承継ファンドの設立

M&A相談件数



法人ソリューション関連手数料



法人ソリューション②

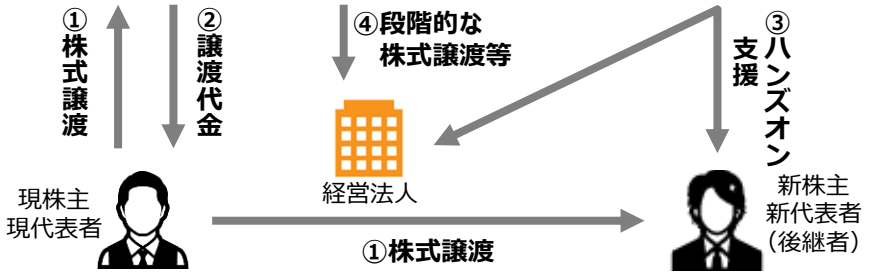
ソリューションメニューを拡充し、お客さまの多様なニーズに対応

ファイナンスメニューの拡充

事業承継ファンド

- 後継者への負担を抑え、株式と経営の円滑な承継を支援

京葉銀事業承継ファンド



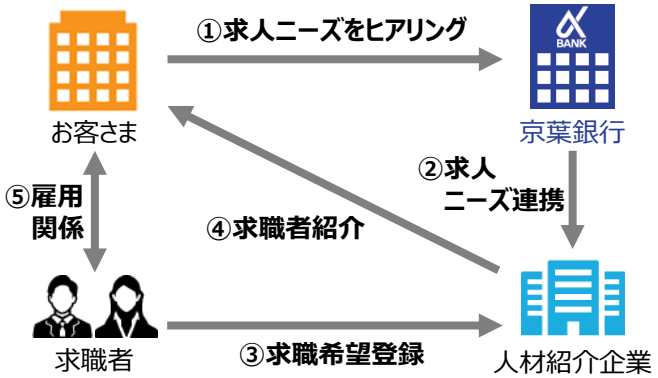
不動産ノンリコースローン New

- 不動産のオフバランス化による財務体質の強化をサポート
- 2022年３月、第１号案件を組成

より踏み込んだ本業支援メニューの拡充

人材紹介サービス New

- 先導的人材のマッチングにより地域のお客さまをサポート



ICTコンサルティング New

- 導入～導入後のフォローまでお客さまのデジタル化を支援

現状分析 課題発掘 → 導入 アドバイス → 導入テスト・初期支援 → 活用 サポート

専門チームが現状の課題を発掘しICTによる解決策を提案

業務効率化に向けたICTの導入テストや初期運用を支援

個人ライフプランニングサポート①

お客さま一人ひとりに寄り添った最適なプランニングを提供

高齢化社会に対応した金融サービスの提供

2022/3期

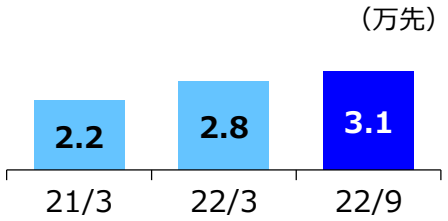
①ライフプランコンサルティング	
● 退職を控えたお客さまなどに対し、人生をより豊かにするための生活設計をサポート	1,035件
②総資産サポート面談	
● 企業オーナーや富裕層のお客さまなどに対し、総合的な相続対策をプランニング	1,887件
③事業承継・M&Aサポート	
● 後継者不足に悩むお客さまなどに対し、円滑な事業承継や事業売却をサポート	428件
中計目標　①～③　合計3,000件の面談を実施（毎年）	合計3,350件

リモート相談も積極活用

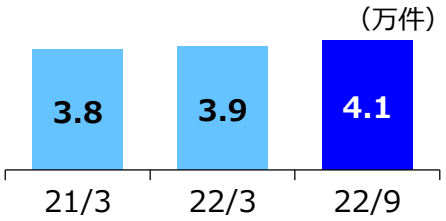
人生100年時代を見据えた資産形成

● 長期分散投資ニーズにきめ細やかに対応

投信積立先数



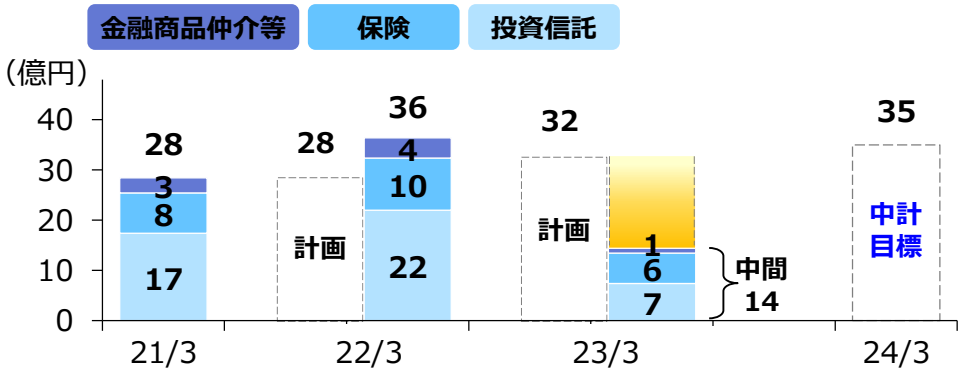
NISA口座開設数



ファンドラップ取扱開始　New

- 投資初心者向けのメニューを強化
- ライフプランに応じた運用プランのご提案

預かり資産関連手数料



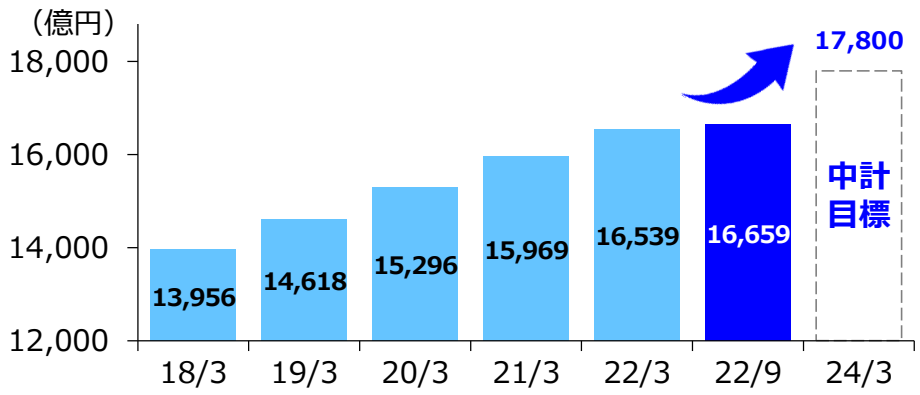
個人ライフプランニングサポート②

住宅ローンを入口に、お客さまとの生涯取引へ繋げる

住宅ローン拡大に向けた取り組み

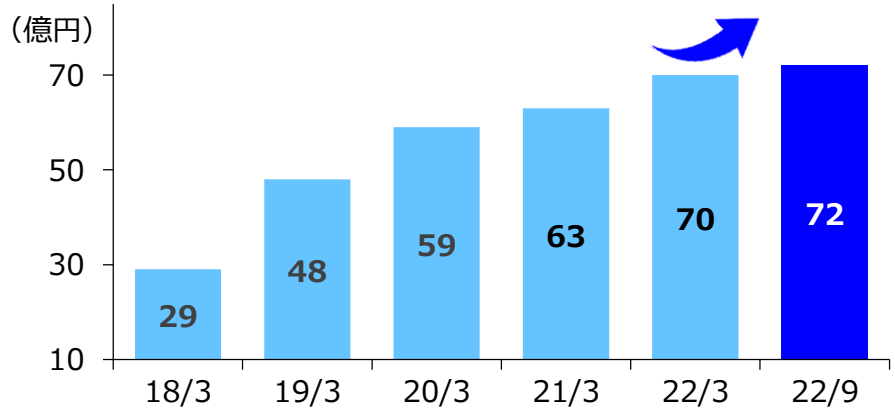
他行との差別化	**融資期間最長40年** ●若年層の方にゆとりを持った返済方法
	LGBTパートナーに対応 ●連帯保証人、連帯債務者、物上保証人の対象者拡大
利用者限定特典ローン	**特典フリーローン・利用者専用借換ローン** ●他社ローンのおまとめも可能な低金利ローン
	契約者専用カードローン ●住宅ローンと同時審査で急な資金需要に利用可能
利便性向上	**審査スピード向上** New ●審査の本部集中化推進により迅速回答
	デジタル化促進 New ●電子契約導入によりお客さま負担の軽減
受付チャネルの拡充	**「住宅ローンの窓口 ONLINE」の活用** New ●幅広いお客さまに当行の住宅ローンをご案内

住宅ローン残高



※計画値は部分直接償却実施前

利用者限定特典ローン残高



デジタル戦略

「POLESTAR計画」に基づきオムニチャネル戦略を進化

オムニチャネル戦略の進化

非対面

非対面チャネルの機能強化

スマホ
- 来店不要の対象取引を拡大

Web諸届サービス　Web完結ローン

PC
- オンラインでの年金・相続等の個別相談

オンライン相談サービス

- さらなる利便性向上に向けた取り組み

AIチャットボット　法人ポータルの導入検討

2022年8月　導入

融合

対面

店頭改革

窓口
- デジタル活用による業務効率化

来店予約サービス　住宅ローン契約電子化

2022年11月　全店拡大　2022年9月　導入

行内のデジタル活用促進

渉外

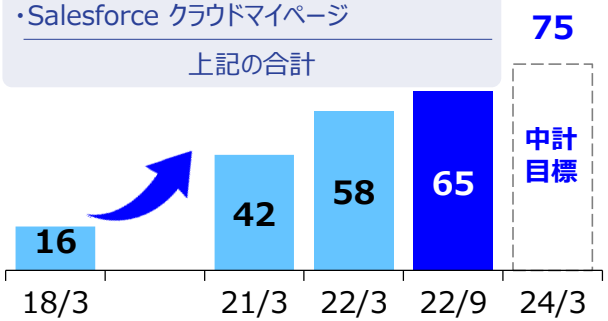
スマートフォンの配布　Web会議ツールの活用

個人デジタル接点数

（万件）

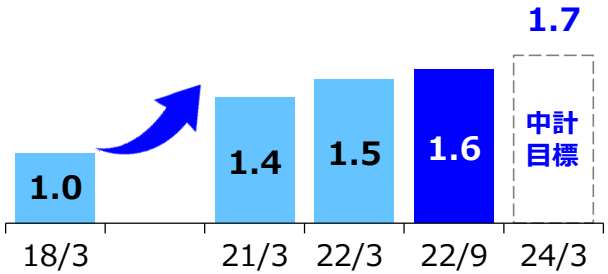
・インターネットバンキング　・スマホアプリ
・どこでもサインイン　・LINEお友達登録
・Salesforce クラウドマイページ

上記の合計



法人ＩＢ契約数

（万件）



2022年10月取得　DX認定

「情報処理の促進に関する法律」に基づき、DX推進の準備が整っている事業者を経済産業省が認定する制度

DXを加速

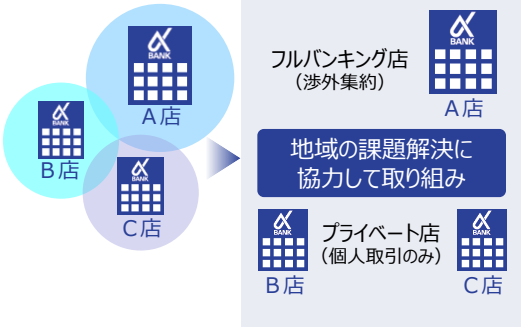
店舗戦略・人員の戦略的再配置

効率的な営業と重点分野への再配置により、戦略・施策の取り組みを加速

エリア制の進化による顧客接点拡大

エリア制の全店拡大

- 前中計で試行したエリア制を**2021年度に全店に拡大**



（店舗）

	20/3	22/3
フルバンキング店	95	45
プライベート店	17	65
うちキャッシュレス店	–	6
事業性融資専門店	2	1
出張所	1	0
店舗内店舗	4	8

※ローンプラザ、インターネット支店、外貨両替所除く

- 店舗特性の見直し

キャッシュレス店舗

- 全窓口での現金取引をATMなどに集約することで、スピーディかつスムーズなお手続きが可能
- じっくりと時間をかけてお客さまのサポートを行うことで、コンサルティングを充実

コンサル特化に向けた業務効率化

- 本部集中化の促進

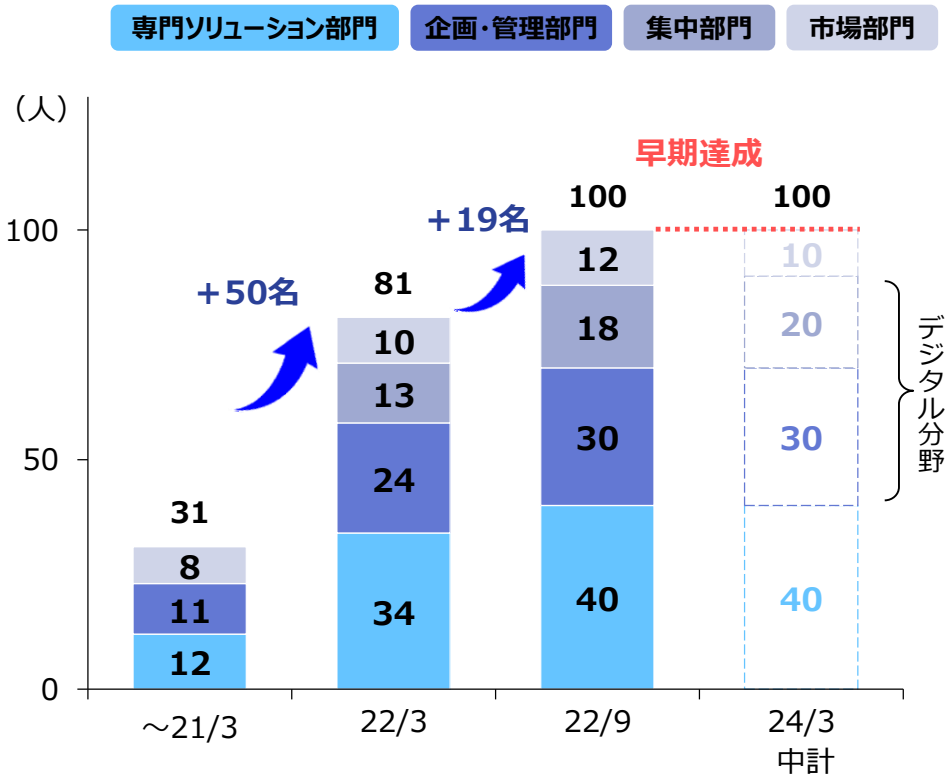
コールセンターの導入
全店で導入済

住宅ローン審査本部集中
今年度本審査を全店展開予定

人員の戦略的再配置

- 前中計にて取り組んだ業務効率化に加え、店舗体制見直しにより捻出した人員を重点分野へ再配置

重点分野への人員再配置状況（累計）



人財戦略

地域とお客さまに高い付加価値を提供できる人財を育成

専門人材の育成支援

挑戦意欲の喚起

- **キャリアチャレンジ制度**
- **社内副業の開始** New
- 副業・兼業の解禁

2021年度キャリアチャレンジ採用者	13名

社内副業部署	融資審査部門	人事採用部門	事務効率化部門	地方創生部門
社内副業採用者	2名	2名	2名	1名

専門スキルの取得

- **外部専門機関への出向**
- エキスパート社員制度導入
- キャリア採用

外部機関派遣・受入	
22/9	24/3目標
25名	40名

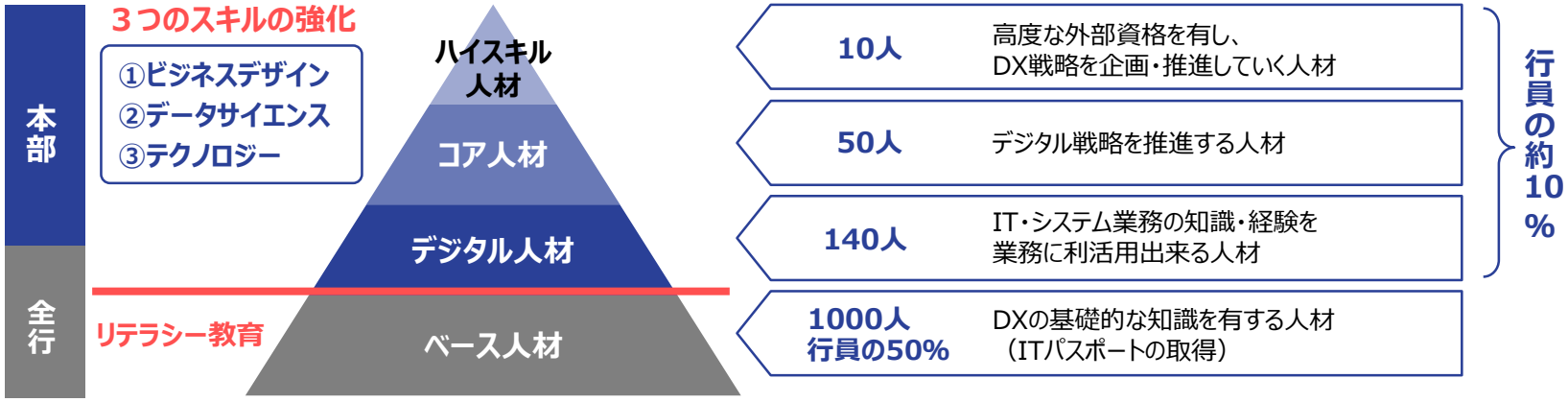
取引先の課題に応える人材

- 中小企業診断士　18名
- 社会保険労務士　23名
- 証券アナリスト　11名

※2022/9時点

FP１級取得者	
22/9	24/3目標
125名	150名

デジタル人材育成計画 ～2025年度



りそなHDとの戦略的業務提携

連携強化により地域の皆さまに最適なソリューションを提供

戦略的業務提携の概要（2021年８月提携開始）

提携効果イメージ

100億円

（5年累計、両行合計額）

３つの分野で業務提携

デジタル	● バンキングアプリ、デジタルマーケティング、データ分析、データビジネス、業務効率化等
ソリューション	● 相続・事業承継、M&A、シンジケートローン、ビジネスマッチング、不動産活用等
人財育成	● 本部人財交流、階層別研修や各種セミナー共催等

主な取り組み

● ソリューション分野を中心に提携施策をスタート

デジタル	● **バンキングアプリの開発に向けた基本合意書締結**
ソリューション	● **相互紹介によるシンジケートローン組成連携*1** 約1年で両行**計17件の相互紹介**（2022年9月末） ● **ビジネス商談会の共催** ● **不動産ビジネスマッチング業務開始*2** ● りそなグループが運営するM&Aプラットフォームへ参加 ● **りそなファンドラップの取扱開始**
人財育成	● りそな銀行との人財交流開始

＊1事例

サステナビリティ・リンク・ローン※によるマンションPJ

千葉県内の不動産開発業者が埼玉県内に新築マンション建築

＊2事例

事務所兼倉庫購入

りそなグループの情報を活用し、運送業者の不動産ニーズへ対応

※お客さまのSDGs・ESG戦略における野心的かつ有意義な事業挑戦目標を設定し、その達成状況に応じて金利などの融資条件が変動する仕組みの融資商品

1．京葉銀行の特徴・強み	P．　2
2．株主さまへの還元	P．13
3．将来へ向けた成長戦略	P．17
4．ESG・SDGsへの取り組み	**P．28**

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティを巡る課題への体制整備を着実に実行

サステナビリティ経営体制の整備

2021年4月	2021年12月	2022年5月
京葉銀行グループ SDGs宣言	サステナビリティ方針策定・TCFD賛同表明	サステナビリティ委員会設置

京葉銀行グループサステナビリティ方針の策定

- サステナビリティに対する基本的な考え方を改めて整理
  - 金融仲介機能の発揮とお客さま本位の良質なサービスの提供等を通じて、気候変動等の環境問題をはじめとするさまざまな社会的課題の解決に取り組む
  - 地域経済の発展と当行グループの企業価値向上の好循環サイクルを創出

持続可能な社会の実現に貢献

取り組み方針	重点項目
行動規範	SDGs宣言
環境方針	1. 地域経済・社会
人権方針	2. ダイバーシティ&インクルージョン
投融資方針	3. 環境保全

サステナビリティ委員会の設置

- 頭取を委員長とする委員会を設立し、推進体制を強化

取締役会
↓
サステナビリティ委員会
↓
サステナビリティ検討部会
↓
本部・営業店・関係会社

- サステナビリティ向上に資する取り組みの進捗を一元管理するとともに、取締役会の監督を受ける体制へ
- 併せて下部組織として「サステナビリティ検討部会」を設置し、サステナビリティを巡る課題への具体的な対応について組織横断的に検討する体制へ

環境

脱炭素・循環型社会の実現に貢献

気候変動リスクへの取り組み

- 2021年12月、TCFD※提言への賛同を表明
- 気候関連財務情報開示と脱炭素社会の実現に向けた取り組みを強化

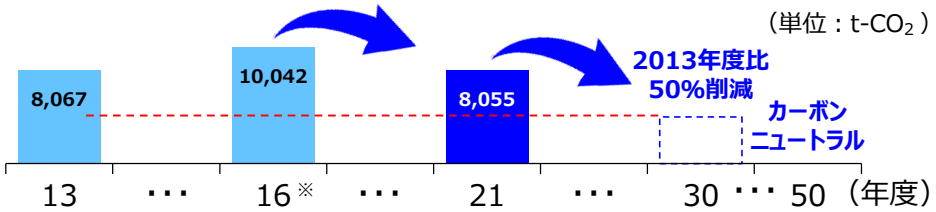
TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

※気候関連財務情報開示タスクフォース

CO_2排出量の削減目標

2030年度に2013年比50%削減
2050年度にカーボンニュートラルを目指す

CO_2排出量の推移



※2016年度 千葉みなと本部竣工

（単位：t-CO_2）

	2019年度	2020年度	2021年度
SCOPE1	1,264	1,200	1,307
SCOPE2	7,307	7,114	6,748
SCOPE3※	-	-	-
合計	8,571	8,314	8,055

※SCOPE3については今後算出を検討

千葉みなと本部の再生可能エネルギーへの移行

- 千葉みなと本部では、使用電力の全量を再生可能エネルギーへ移行済

導入済の環境負荷低減施策
- 屋上庭園化
- 壁面緑化
- 太陽光発電設置

建築環境総合性能評価システムCASBEE（キャスビー）※において最上級のＳランクを取得

※一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（IBEC）による建築物を環境性能で評価し格付けする手法。省エネルギーや環境負荷の少ない資材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や環境への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。

千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト

- 2017年より産学連携のプロジェクトをスタート
- SDGs達成に向けて学生発案の環境啓発活動や環境貢献企画を実践

竹害を抑制する竹林整備体験事業を実施

地産地消を促進するリーフレットを全営業店で配布

社会（お客さまとともに）

ファイナンスを中心としたソリューションを通じて地域のサステナビリティに貢献

ESG関連投融資の目標・実績

	22/9 実績	24/3 中計目標	31/3 長期目標
ESG関連投融資※ 21/4からの累積実行額	1,158 億円	1,500 億円	7,000 億円

※環境・再生可能エネルギー分野向け、医療・介護分野向け投融資等、ESGに資する投融資

お客さまのSDGs取り組みサポート

- お客さまの規模や取り組みフェーズに適合するソリューションを提供

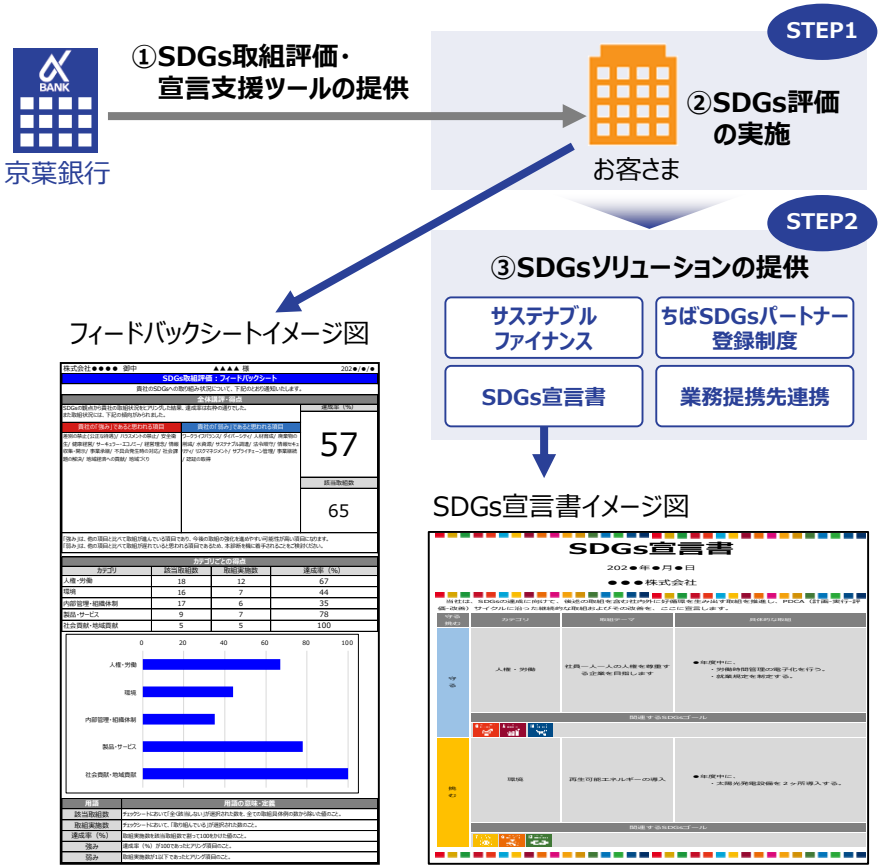
大・中堅企業

中小企業

ソリューションメニュー	
αサステナビリティ・リンク・ローン αグリーンローン αソーシャルローン	• 国際原則に準拠したファイナンス • 第三者評価機関によるレビューが必須
ビジネスマッチング	• CO_2排出量簡易算定 • お客さま同士を繋ぐシナジー効果
SDGs取組支援サービス SDGsローン	• SDGs取組評価・宣言支援ツールの活用 • SDGsを推進する企業の資金サポート

SDGs取組支援サービス

- 中小企業のお客さま向けにSDGs取組評価・宣言支援ツールを活用

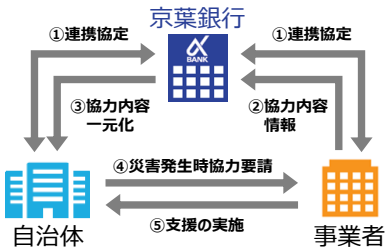


社会（地域とともに）

地域経済の持続的な成長や、地域社会の活性化に貢献

被災地応援プラットフォームの導入

- 2021年９月、当行が自治体、お取引先事業者さまとそれぞれ連携協定を締結し、自治体のセーフティネット機能強化を支援

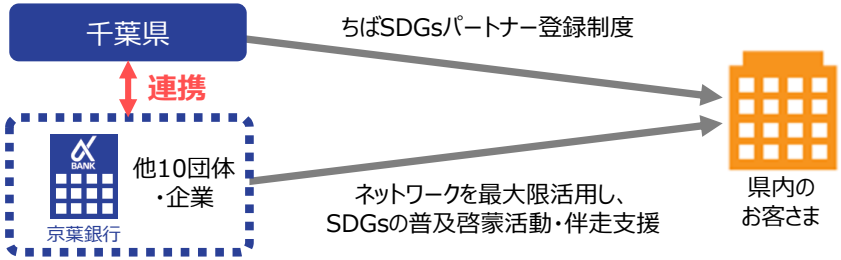


参加事業者

自治体	● 四街道市、香取市
事業者	● 株式会社テックコーポレーション ● 株式会社ウィード ● 株式会社佐藤ケミカル ● 株式会社やます ● 株式会社鶴商メンテナンス工業 ● 株式会社アーネスト ● 株式会社サークランド

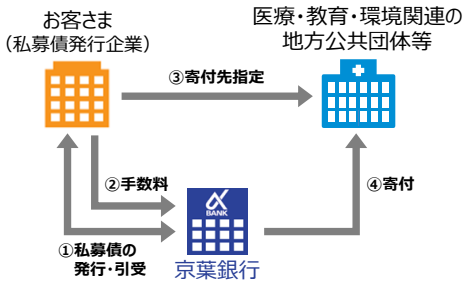
千葉県と連携したSDGs推進

- 2022年１月、当行を含む12団体・企業から成る「ちばSDGs推進ネットワーク」に参加



SDGs私募債

- 発行企業さまからいただいた手数料の一部を、医療・教育・環境関連の法人や千葉県などの地方公共団体等に寄付



発行実績	221件 161億円	寄付総額	3,228万円

※2022/9末時点

香取市佐原における町おこし

- 「北総の小江戸」と呼ばれる佐原地区の町並みを、歴史的な観光資源として活かした地域振興の取り組み（佐原信用金庫共同PJ）

2015.9 「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」出資（2016.10事業会社設立）

2018.3 古民家を改装した「佐原商家町ホテルNIPPONIA」オープン

2021.3 酒蔵を改装したバンケットルームオープン

2022.3 事業会社へのファンド出資を直接出資へ切替

バンケットルーム「KAGURA棟」

株式会社馬場本店酒蔵が江戸時代末期より保有する酒蔵を改装

社会（従業員とともに）

自分らしく生活できる社会づくりに貢献

女性活躍推進

- 女性の活躍を人財戦略の重要なテーマと位置づけ、マネジメントを担う人財の育成・登用を推進

女性活躍の状況	21/3	22/3	24/3 目標
指導的地位※にある女性人数	324人	369人	-
指導的地位※に占める女性比率	25.8%	28.3%	30%

※係長以上の役付行員
（基準日：年度末日の翌営業日）

（えるぼし）

女性活躍推進法に基づき、女性活躍に関する取り組みが優良な企業の認定

健康経営への取り組み

- 2021年4月、「健康経営宣言」を制定
- 従業員の健康管理を経営課題として取り組むことにより目指す銀行像を実現

2022 健康経営優良法人 Health and productivity

経済産業省と日本健康会議が協同で選定する「健康経営優良法人2022」に選定されました

多様な働き方の実現

- フレックスタイム制度
- チャイルドプラン休暇
- キャリアパスの構築

有給休暇取得率	
22/3	24/3目標
73%	80%以上

（プラチナくるみんプラス）

優良な「子育てサポート」企業であることにプラスして、不妊治療と仕事との両立をサポートする企業の認定

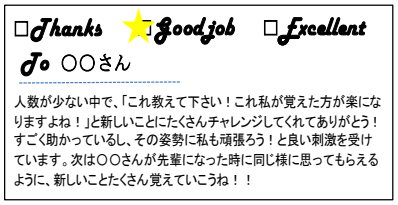
（イクメン企業アワード2018 両立支援部門）

厚生労働省による男性の育児と仕事の両立を促進し、業務改善を図る企業を表彰する制度

行内コミュニケーションの活性化

- 従業員一人ひとりが個性や創造性を活かしながら、その能力を最大限発揮できるよう、働きやすい職場づくりを推進

頭取・若手行員Web座談会

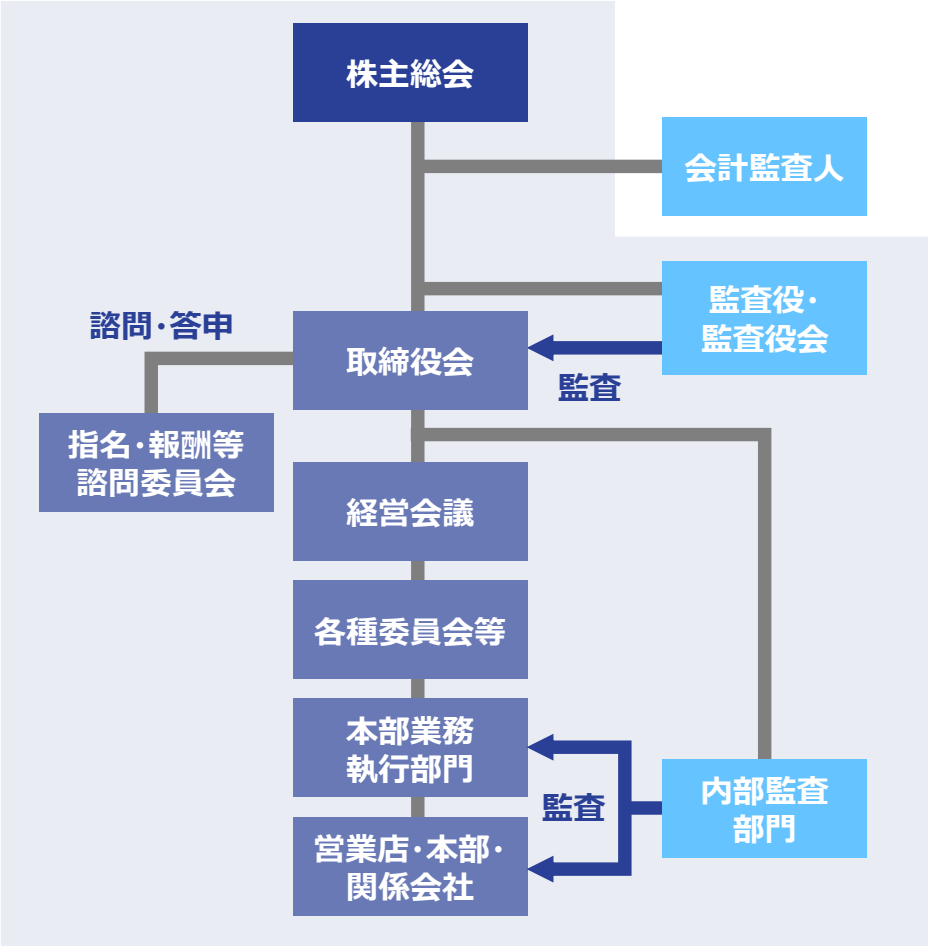


Thanksカードの活用

ガバナンス

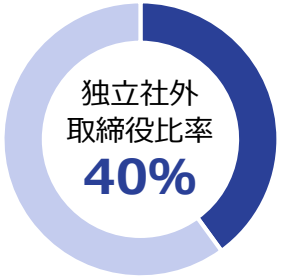
多様な視点を取り入れた公正で透明性の高いガバナンス体制

ガバナンス体制



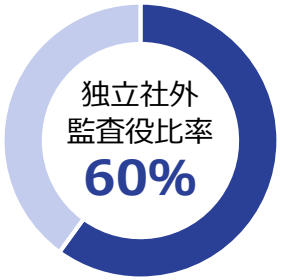
取締役会

- **独立社外取締役４名**／10名
  （うち**女性１名**）



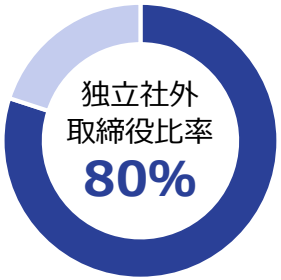
監査役会

- **独立社外監査役３名**／５名



指名・報酬等諮問委員会

- **独立社外取締役４名**／５名
  （うち**女性１名**）



本日のポイント

①恵まれたマーケットと強固な営業基盤

- 千葉県は人口規模全国６位、バランスの取れた経済圏
- 県内貸出金シェア約２割、預金シェア約１割

②当行の成長戦略

- 課題解決型営業を強化し、収益増強と多角化を推進
- りそなＨＤなど外部パートナーとの連携を活用し、付加価値の高いサービスを提供

③魅力的な株主還元

- 配当利回り 3.33%（2023年2月21日現在）
- 株主優待制度　①ギフトカードの贈呈　②選べる株主優待

参考資料

株主・投資家の皆さまへの情報発信

ホームページ

IR資料などがご覧いただけます

IR説明会資料

統合報告書・ディスクロージャー誌

10年間の株価推移（2013年1月～23年1月）

京葉銀行（8544）月足

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022（予想）
年間配当金（円）	10.5	11.0	11.0	11.0	11.0	22.0	20.0	19.0	20.5	**22.0**

※2018年10月1日付で株式併合（2株を1株に併合）を行いました。2018年度の年間配当金については株式併合を反映して記載しております。

京葉銀行のコミュニケーションシンボル

「α」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、
人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。
コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

確かな“きずな”を、未来へ。

＜本資料に関する照会先＞
株式会社　京葉銀行　経営企画部　広報グループ
TEL：０４３－３０６－８０６５

本資料には将来の業績に関わる記述が含まれていますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、
リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。
また、本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券を推奨するものではありません。